JAふじ伊豆
御殿場
地区版広報誌

～組合員の皆さまとJAふじ伊豆 御殿場地区をつなぐ地区版広報誌～

ふじ伊豆
Fuji Izu Plus

2025
8
vol.20

2025年8月1日発行

7 おかげさまで ファーマーズ御殿場 7周年!!

ファーマーズ御殿場は7月に7周年を迎え、感謝の気持ちを込めて、7月18日から21日まで「周年祭」を行いました。

生産者が丹精込めて育てた採れたての地場野菜はもちろん、人気の地元パン屋とのコラボ商品や抽選会、御殿場地区の朝採れトウモロコシの試食など、盛りだくさんのイベントが催され、多くの来店者でにぎわいました。

これからも、地場農産物やファーマーズ御殿場の魅力をどんどん発信していきますので、よろしくお願いいたします。

店内に並ぶ地場の旬の味

住　　所／御殿場市ぐみ沢5
営業時間／8：30～17：00
定 休 日／水曜・年始
電　　話／0550-81-1831

豪華賞品が当たる抽選会

周年祭でにぎわう店内

編集発行／JAふじ伊豆　御殿場地区本部　〒412-0041 御殿場市茱萸沢5　TEL 0550-82-2800（代表）　FAX 0550-84-0743
◀JAふじ伊豆 ホームページ

ふじ伊豆＋ お知らせコーナー

野菜づくり運動
苗の配布のお知らせ

御殿場地区本部では、地産地消やファーマーズ御殿場出荷者協議会への加入促進などを目的に、本年も「野菜づくり運動」を実施します。

8月中旬から正組合員宅へ職員がキャベツとブロッコリーの苗を4本ずつ配布します。

お問い合わせ先／
御殿場地区営農課　電話：0550-84-4820

1俵でも多くの米の出荷をお願いいたします

令和7年産米概算金（最低保証価格）決定

「ごてんばこしひかり」のさらなるブランド化と生産者の所得向上のためには米集荷の安定を図る必要があることから、御殿場地区本部ではコシヒカリに限り、早期に令和7年産米の概算金を下記のとおり決定いたしました。

コシヒカリ1等以上	概算金（最低保証価格）
エコ栽培米	26,000円／60kg
厳選特A	24,500円／60kg
特A	24,500円／60kg
コシヒカリ1等	24,000円／60kg

お問い合わせ先／御殿場地区販売課　電話：0550-84-4830

農業所得向上を目指し、御殿場地区の振興作物を栽培しませんか？

振興作物栽培者募集中！

御殿場営農経済センターでは、ファーマーズ御殿場や市場などへの出荷者を募集しています。

水稲と複合的に農産物を栽培してJAに出荷し、所得向上につなげてみませんか?

タマネギ
機械化が進み、定植から収穫まで機械化一貫体系が構築されています。
御殿場営農経済センターではレンタル農機を用意しております。
※タマネギは9月播種、11月中旬植え付けです。

キウイフルーツ
市場出荷を視野に入れて「レインボーレッド」「東京ゴールド」を栽培しています。
当地区の新規特産品を目指しています。
※キウイフルーツは3月ごろ植え付けです。

その他の振興作物は、サツマイモ、トウモロコシ、ゴーヤがあります。

お問い合わせ先／御殿場地区営農課　電話：0550-84-4820

住宅・教育・車 各種ローンのことなら
ローンセンター御殿場 にお任せください！

営業時間
平　　日／9:30～18:00
第1・3・5土曜／8:30～16:00
日　　曜／8:30～16:00

定休日
祝日、第2・4土曜日

住　所：御殿場市ぐみ沢5（御殿場地区本部1階）
電話：0550-84-4835

土地・建物・相続 予約制
個別無料相談会のご案内

- 土地、建物を売りたい、買いたい
- 遊休土地を有効活用したい
- アパートなどの建設業者から営業を受けたが、専門家の意見が聞きたい
- 相続税対策について聞きたい　など

不動産や相続の悩み、疑問に個別に対応します。

■日時／8月9日（土）、13日（水）、27日（水）
9:00～16:00
■場所／不動産相談センター　御殿場店
●お問い合わせ先・ご予約
不動産相談センター 御殿場店　電話：0550-84-4811
（平日／8:30～17:00、土曜／9:00～16:00）

6月20日 採種ほ場の〝ばか苗病〟の有無を審査

御殿場地区でコシヒカリや峰の雪もちなどの種子を生産する北駿種子生産組合は、同地区の採種ほ場122カ所を東部農林事務所、富士農林事務所、御殿場市、小山町、静岡県米麦協会、JA職員など23人と巡回し、〝ばか苗病〟発生の有無を審査しました。

〝ばか苗病〟は種子伝染性の病害で、苗の異常な徒長や黄化、枯死を引き起こします。出穂前に枯死したり、出穂しても不稔になったりすることがあり、品質や収量に大きな影響を及ぼすため、発病が確認されたほ場の種子は出荷することができません。今回の審査で、採種ほ場でのばか苗病の発生は確認されませんでした。

同生産組合の勝又宏己組合長は「御殿場地区の種子は品質が良く、評価が高いが、温暖化の影響で種子生産は難しくなってきている。今後は他品種の種子生産も考えていかねばならない」と話します。

同生産組合では本年度、組合員16人合わせて約22ヘクタールでコシヒカリ、峰の雪もち、葵美人の種子を栽培。今後は各品種の出穂期、黄熟期にほ場審査を、出荷前に農産物検査を行い、検査を通過した種子は経済連を通して主に県内に供給されます。

採種ほ場を審査する関係者

7月3日～11日 水稲生育調査を実施

御殿場地区営農課は、同地区営農経済センターの職員と管内223カ所の水田を巡回し、生育調査を実施。草丈や茎数、葉色、幼穂の長さを確認しました。

御殿場地区は6月の気温が高く、梅雨に入ってからも降水量が少なかったことから日照時間が平年を大幅に上回り、生育ステージは猛暑となった昨年と同程度となりました。

同営農課の内野美里職員は「6月・7月の好天により生育が促進され、草丈は10㎝程度長く、葉色がさめているほ場が散見される。多くのほ場で7月中に出穂することが予想される」と話し、「当地区では省力化のため、『穂肥のいらない施肥体系』を推奨しているが、気温が高いため肥料切れになっている水田が多い。生産者は調査結果を確認し、必要に応じて穂肥の散布と根を活性化させるために間断潅水を徹底してもらいたい」と呼びかけました。

同地区は、もち米は8月下旬から、コシヒカリをはじめとしたうるち米は9月上旬からの収穫を見込んでいます。

2人1組でほ場に入り生育調査を行うJA職員

6月25日 女性部生活学校で開校式 受講生は過去最高の202人

女性部御殿場地区本部は、令和7年度御殿場地区女性部生活学校の開校式を御殿場地区本部で行い、受講生140人が参加しました。

同地区女性部の山口まり子本部部長は「生活学校の目的の一つは部員同士の交流。自ら活動を楽しむとともに、他支部の部員とも積極的に交流してもらいたい」とあいさつしました。同学校は、JA静岡女性組織協議会の3か年計画「元気で豊かな地域をみんなの力で♡」にのっとり、同地区女性部員の親睦と教養を高め、より多くの仲間づくりを目的に開校。6月から翌年2月まで、加工料理や健康、手芸、視察など年6回の講座を予定しています。

式後は、ファミリー楽団「TONTOS」による記念公演が行われ、受講生は手拍子をたたきながら楽しそうに鑑賞しました。

あいさつをする山口本部部長

TONTOSによる記念公演

女性部

7月3日 女性部が燻製クラブを新設

女性部御殿場地区本部は、JA生活センターで本年度新たに設立した燻製クラブの活動を行い、講師の三島函南地区の女性部員からベーコンの作り方を学びました。

受講生30人は、講師からドラム缶製の燻製器に炭や桜の木を入れるタイミングや温度の調整方法を学びながら、燻製器3台を使用して豚バラなど約35kg分のベーコンを作りました。

女性部御殿場地区本部では、昨年行ったフレッシュミズスクールでのベーコン作りが好評で、部員から「クラブとして活動し、多くの仲間と取り組みたい」との要望があり、本年度の設立につながりました。女性部事務局の御殿場地区組織課の担当者は「燻製クラブに入りたくて女性部に加入した方がいるなど、クラブ設立が仲間づくりにつながった。これからも部員の声を大事にしていきたい」と話しました。

出来上がったベーコンを包む受講生

燻製した豚バラ(右)と鶏ムネ肉。さっぱりとした鶏ムネ肉も好評でした

女性部

御殿場地区 トピックス

御殿場市・小山町のトウモロコシ、ゴーヤの出荷始まる

【トウモロコシ】

御殿場・小山とうもろこし出荷組合は7月8日、御殿場地区産のトウモロコシが出荷時期を迎えることから、JA営農販売部や御殿場営農経済センター、種苗会社と同出荷組合員のほ場4カ所を巡回し、生育を確認しました。

御殿場地区販売課の担当者は「6月の気温が高かったことから、生育は例年より3日ほど早いが、品質は上々。当地区産は昼夜の寒暖差が大きく、糖度が一番高い日の出前に収穫することで大変甘く、ギフトとしても人気が高い」と話します。

巡回後はJA生活センターで出荷目揃え会を行い、出荷規格や出荷方法について確認し、品質の徹底を図りました。

本年は7月14日から8月15日まで約3万本の出荷を予定。ファーマーズ御殿場や、県東部のスーパーなどで販売するほか、当地区の学校給食へ提供されます。

トウモロコシの生育を確認する生産者とJA職員

【ゴーヤ】

御殿場営農経済センターは7月17日、御殿場地区本部でゴーヤ出荷目揃え会を行い、生産者や市場関係者、JA職員など10人が出席し、生育状況や出荷規格、出荷方法などを確認しました。

同地区では、苦みが少なく、子どもも食べやすい品種「ビタCグリーン」を栽培。栽培時にゴーヤが真っすぐ育つようにカバーを付ける、厳しい出荷基準を設けるなどし、品質は市場で高く評価されています。

本年は、生産者8人で7月中旬から10月上旬まで約2万7千本の出荷を予定しています。管内のファーマーズマーケットや県内スーパー、当地区の学校給食などに提供されます。

出荷規格について確認する生産者

写真で振り返る 6月・7月

7月4日 女性部
御殿場地区と伊豆太陽地区の女性部が交流会を実施

6月27日
資産保全管理部会総会で相続セミナーを開催

6月14日 青壮年部
青壮年部御殿場地区本部の要望で刈払機の安全衛生講習会を初開催